

北海道

防衛HOKKAIDO

編集・発行
防衛省北海道防衛局 広報委員会

札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎
TEL 011-272-7579
<https://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



駐屯地創立記念行事 市中パレード 自衛官候補生による徒步行進（名寄駐屯地提供）

「絆」（きずな）名寄市と名寄駐屯地の紹介	P2～3
令和6年度 北海道防衛施設地方審議会開催	P4
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転の実施	P4
第48回 防衛問題セミナー	P5
令和6年版 防衛白書	P5
道央廃棄物処理組合焼却施設が完成	P6
令和6年度 防衛大臣感謝状贈呈式	P7
令和6年度 北海道防衛局長感謝状贈呈	P7
業務紹介・若手職員からの職場紹介（調達部・管理部）	P8～9
自衛官募集案内	P10

北海道防衛局
ホームページ



北海道防衛局
公式X



2024
12
vol.92

きずな 「絆」 名寄市



名寄市内で観測された低緯度オーロラ



加藤 剛士
名寄市長

我が国は、戦後、最も厳しく複雑な安全保障環境への直面や自然災害が激化する中、防衛省・自衛隊の皆様には、国の防衛や災害派遣等をはじめ、地域の安全・安心な生活に大きく寄与して頂いておりますことに心から敬意と感謝を申し上げます。

自衛隊の役割が拡大する昨今、本市といたしましても、関係機関と緊密な連携を図り、隊員の皆様が安心して任務に邁進して頂けるよう、共に歩み絆を深め、協力支援態勢の輪を広げていく所存であります。

北北海道の中核都市 名寄市

名寄市は、北北海道の中核都市で、北の防衛拠点である日本最北の陸上自衛隊名寄駐屯地が所在しているほか、日本最北の公立大学である名寄市立大学があります。農業を基幹産業とし、中でも、もち米は生産量・作付面積ともに日本一を誇り、伊勢の名物「赤福」をはじめ、様々な有名商品に使われています。国内でもトップクラスの天体観測ができる「なよろ市立天文台 きたすばる」では、北海道大学の協力の下、様々な研究や観望会が行われています。



TOPICS

名寄独自に進化した食文化「なよろ煮込みジンギスカン」

北海道を代表する食文化「ジンギスカン」のうち羊肉をタレに漬け込んで食する地域のなかでも、名寄で販売されているジンギスカンはタレの割合が多くなっています。

名寄では、このジンギスカンをタレごと鍋に入れて、お好みの野菜やうどん等の具材とともに豪快に煮込んで食べます。

この名寄独自に進化した食文化を「なよろ煮込みジンギスカン」と命名して「名寄」のPRと次代への継承を目指しており、令和4年3月には文化庁で「100年フード」に認定されています。市内飲食店で提供しているほか、インターネット等でも購入できますので、是非お召し上がりください。



名寄市と防衛省・自衛隊との関わり

名寄市に所在する陸上自衛隊名寄駐屯地の各部隊・隊員の皆様には、我が国の平和と独立を守っていただくとともに、本市の防災訓練への参加や防災対策の推進等、安全・安心なまちづくりに多大なご尽力をいただいております。

また、地域の各種イベントや町内会活動等にもお力添えを賜り、市民にとって身近な存在となっております。



市中パレード



名寄市防災訓練



名寄市防災セミナー



自衛隊のまち なよろ 看板設置（除幕式）

日本最北の駐屯地

名 寄 駐 屯 地

【名寄駐屯地の紹介】

名寄駐屯地は、北海道北部の名寄市に所在する我が国最北の駐屯地であり、北の国境を守る第一線の精鋭部隊として昭和28年5月に開庁されました。

また、駐屯部隊として、第3即応機動連隊、第4高射特科群、第2偵察隊など14個の部隊が駐屯しております。

【名寄市との関係性】

名寄駐屯地は、防災訓練への参加及び防災対策の推進等、名寄市と密接な

連携を図るとともに、夏季及び冬季における道北地域の各種イベントへの支援等を積極的に行って、名寄市を盛り上げ、かつ駐屯部隊の任務へのご理解を深めていただけるよう2人3脚で取り組んでいます。



なよろ雪質日本一フェスティバル協力

道北第一線の駐屯地として、使命感と責任感をもって、いつ如何なる任務にも即応・完遂すべく、「活力のある健全で信頼される駐屯地」をスローガンに、地域に根差した駐屯地を目指しています。



名寄駐屯地司令 1等陸佐 藤田 明大



令和6年度 北海道防衛施設地方審議会を開催

令和6年10月28日（月）、令和6年度 北海道防衛施設地方審議会が開催されました。

近年コロナ感染防止対策等の影響により参集して開催する機会がありませんでしたが、今年度は、令和元年以来5年振りに委員の皆様に参加して頂き、当局からの業務報告と陸上自衛隊丘珠駐屯地の視察を実施しました。審議会閉会後には次期会長の互選、会長代理の指名が行われ、次期会長には祖母井（うばがい）里重子委員が選ばれました。

また、駐屯地視察では、民間空港と共用されている札幌飛行場（丘珠空港）について、管制・消防や滑走路除雪等の維持管理を自衛隊が担任していることを隊員から説明を受け、「普段は見ることのできない施設や装備品を見学でき、百聞は一見にしかず」と防衛省の業務に対して、更なる理解を示していただけました。



防衛施設地方審議会の模様



佐藤会長ご挨拶



祖母井次期会長
ご挨拶



陸上自衛隊 丘珠駐屯地 部隊視察



米軍再編に係る千歳基地への訓練移転の実施

令和6年10月22日（火）から11月1日（金）までの間、米軍再編に係る訓練移転（日米共同訓練）を航空自衛隊千歳基地で実施しました。

この訓練は、再編の実施のための日米ロードマップ（平成18年5月1日）に基づき、二国間の相互運用性の向上と在日米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するため、平成18年度以降、米軍の嘉手納、三沢及び岩国飛行場から自衛隊の千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原基地への航空機の訓練移転を実施しているもので、千歳基地での訓練は、今回で13回目となります。

今回の訓練移転は、三沢飛行場から千歳基地に訓練移転として展開した上で、日米共同訓練を実施し、同時期に実施した日米共同統合演習（キーン・ソード25）にも参加しました。



三沢基地所属 F-16 戦闘機

【北海道防衛局の対応】

北海道防衛局は本訓練移転の期間中、千歳基地内に「北海道防衛局訓練移転現地連絡本部」を設置し、地元自治体、関係機関への訓練に関する情報の提供をはじめ、米軍への物品等の調達支援、航空機騒音測定等、同訓練を円滑に実施するための各種支援等業務を行いました。



訓練説明会



航空機騒音測定



第48回 防衛問題セミナー

北海道防衛局は、令和6年11月20日（水）名寄市民文化センター EN-RAYホール（名寄市）において、
「防衛三文書の概要」
「気候変動に伴う風水害の激甚化とリスクベースの適応策の考え方」
 の2本立ての構成により、防衛問題セミナーを開催しました。



主催者挨拶
福島北海道防衛局長



後援者挨拶
加藤名寄市長



第1部 有田 純 防衛省大臣官房参事官



第2部 山田 朋人 北海道大学教授

今回のセミナーでは、道内の地方公共団体の首長や道議会議員など約20名を含む約360名が来場され、大変盛況のうちに終了しました。

参加者からは、「地域に関する話題について、直接防衛省の方や大学教授の専門的なお話を聞くことができ、身近に感じられて良かった」、「台風、雨による災害のリスクが北海道でもあるのだと認識した」、「防衛問題セミナーは継続して実施してもらいたい」などのご意見をいただきました。

当局では、防衛政策や防衛省・自衛隊の活動等について、皆様にご理解・ご協力いただけますよう、今後も防衛問題セミナーを開催してまいります。



令和6年版 防衛白書

防衛省は、令和6年7月12日（金）に令和6年版防衛白書を公表しました。防衛力の抜本的強化を含む防衛省・自衛隊の取組は、国民一人一人の、そして諸外国の理解と支持があって初めて成り立つものです。防衛白書がわが国が置かれた環境や防衛省・自衛隊の取組について、より多くの皆さまの一層のご理解を賜るための一助となることを願っております。



地方公共団体へ白書説明

北海道防衛局は、陸海空自衛隊及び自衛隊地方協力本部と連携し、鈴木北海道知事をはじめ道内の地方公共団体に対して令和6年版防衛白書の概要説明を行いました。

わが国の防衛政策や防衛省・自衛隊の各種施策について、理解を深めていただくとともに、防衛省・自衛隊と地方公共団体との連携強化を図ることを目的としています。



福島北海道防衛局長による鈴木北海道知事への説明



道央廃棄物処理組合焼却施設が完成

～民生安定施設整備事業（一般助成）の紹介～

防衛省は、防衛施設の設置又は運用により生活又は事業活動が阻害されると認められる場合、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条に基づき、民生安定施設整備事業として、地方公共団体が必要な施設の整備を実施するときに、その費用の一部を補助しています。

今回は、民生安定施設整備事業のうち、令和6年8月22日に完成記念式典が行われた道央廃棄物処理組合焼却施設について紹介します。

道央廃棄物処理組合を構成する千歳市、北広島市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町の2市4町の住民・事業所及び各駐屯地等の防衛施設から排出される廃棄物を安定的かつ適正に処理し、地域住民の生活環境の保全に寄与することを目的として、焼却施設の整備事業に対し補助を行いました。

【補助事業の概要】

事業年度：平成30年度～令和6年度

補助対象事業費：約83億5千万円

補助額：約41億8千万円（補助率 5/10）

処理能力：158t/日

敷地面積：4.29ha



焼却施設 全景



ごみピット



完成記念式典



焼却炉

【道央廃棄物処理組合 担当職員の声】

本施設は組合を構成する2市4町から排出される可燃ごみを焼却処理する施設です。廃棄物のもつ熱エネルギーを有効活用して発電を行う低炭素社会に貢献する施設となっています。

建設工事に引続き地域の皆様のご理解とご協力を頂ける様に、周辺環境に配慮した適切な運転管理に努めます。



令和6年度 防衛大臣感謝状贈呈式

令和6年10月26日（土）、ホテルグランドヒル市ヶ谷（東京都）において、令和6年度自衛隊記念日における防衛大臣感謝状贈呈式が行われました。

防衛大臣感謝状贈呈式は、防衛大臣の主催により、自衛隊に対する功労が著しいと認められる個人や団体に感謝の意を表すため、毎年実施されています。

今回は、防衛協力功労（一般功労）表彰として曾根 興三 別海町長へ防衛大臣感謝状が贈呈されました。



令和6年度 北海道防衛局長 感謝状贈呈

北海道防衛局は、自衛隊の活動と防衛施設の安定的な使用及び当局の所掌業務の遂行に協力いただいた方へ感謝状の贈呈を行っています。

本年度は4名の方々へ、積極的な協力と多大な貢献をいただいたことに感謝の意を表し、福島局長、本多次長及び後藤総務部長から感謝状を贈呈しました。



秋元 克広 札幌市長



喜井 知己 鹿追町長



小松田 清 中富良野町長



大浦 崇志 氏
北海道防衛局入札監視委員会 前委員

業務紹介・若手職員紹介（調達部）

調達部各課の業務紹介

・調達計画課

自衛隊や在日米軍の施設等建設工事にかかる実施計画の立案・調整や予算管理、自治体等との調整業務を行っています。防衛本省や施設のユーザーである自衛隊等と調整を行いながら、施設の運用を考慮した工事期間の検討や発注計画の作成を行っています。

・事業監理課

①地方防衛局で整備している防衛施設がユーザーから求められている性能や品質を満たしているか確認、検査、②施設が完成した後、長期間運用を行っていくために図面などの情報管理、③大規模建設プロジェクトの進捗管理などを行っています。

・建築課・土木課・設備課

各種工事における調査、設計、積算、工事監督業務などを行っています。庁舎、病院、整備場、滑走路、駐機場、道路、受変電設備、レーダー施設など多岐にわたる施設などを整備しています。

“画像：航空自衛隊WEBサイト”

Koku-Jieitai
Japan Air Self-Defense Force
© JASDF

調達部の若手職員紹介



吉田さん

【所属】
土木課 第3係

【採用区分】
国家一般職（大卒程度）
2023年 入省

◎職場の雰囲気

職場の方々とはみな明るく、仕事で悩んだ時には気軽に相談できるので、とても働きやすい環境です。

◎志望動機

学生時代に学んだ土木の知識を活かせること、飛行場や燃料施設など防衛省特有の施設の整備に携われることに魅力を感じ、志望しました。

◎担当業務とやりがい

各種土木工事における調査、設計、積算、工事監督官業務を行っています。自身の監督している工事で日々起こる問題を解決し、無事工期限内に設計図面のとおりに完成した際は、とてもやりがいを感じます。

◎休暇の取得

今年のGWと夏季休暇は、年休を利用して地元へ帰り、リフレッシュすることができました。

◎国家公務員を目指す受験生にメッセージ

どんなに準備しても緊張や不安はあると思いますが、最後まで自分を信じて、自信をもって挑めばきっと良い結果につながります。頑張ってください！

◎職場の雰囲気

悩んだときも先輩に相談しやすく、ひとつひとつ丁寧に教えてもらえるので、とても温かく働きやすい職場です。

◎志望動機

業務説明会で具体的な業務内容を知り、人々の安心な暮らしに貢献できるやりがいや、自分の成長が期待できるこの環境で働きたいと感じ志望しました。

◎担当業務とやりがい

建設工事における工程管理、施工確認などの監督業務を行っています。防衛省ならではの特殊な施設の建設に携わることができ、目に見える形で成果が残るため大きなやりがいを感じています。

◎休暇の取得

今年は、夏期休暇と年休を利用して旅行へ行きました。

◎国家公務員を目指す受験生にメッセージ

悩んだ時間や準備に費やした時間もきっと良い経験になると思うので、結果だけにこだわらず、過程も大切にしながら頑張ってみてください。



梶浦さん

【所属】
設備課 電気通信係

【採用区分】
国家一般職（高卒程度）
2023年 入省

業務紹介・若手職員紹介（管理部）

管理部各課の業務紹介

1. 業務課

自衛隊等が訓練を行うため必要となる区域（制限水域）について、使用した期間に漁業経営上被った損失を補償する業務や、合衆国軍隊等の行為により損害を受けられた方に対して、地位協定に基づく損害賠償等に関する業務を行っています。



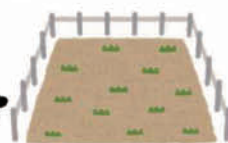
2. 施設管理課

自衛隊や米軍が使用する土地や建物などの財産を管理するため、土地境界の確認・施設管理測量、国有財産台帳の整理、国有財産の使用許可、財産管理に伴い生ずる諸問題の調査や研究に関する業務を行っています。



3. 施設取得課

自衛隊や米軍が、演習場、飛行場、港湾、駐屯地など、防衛施設として使用するための土地・建物などの買い入れや借り上げなどに関する業務を行っています。



管理部の若手職員紹介



河本さん

【所属】

業務課 調達協力室
調達協力第1係

【採用区分】

国家一般職（大卒程度）
2024年 入省

◎志望動機

防衛省・自衛隊に憧れがあり、参加した合同説明会で防衛局の存在を初めて知り、業務に魅力を感じ志望しました。

◎職場の雰囲気

上司には相談しやすく、休憩時間や出張の移動中などはよく雑談をします。職場全体としてもコミュニケーションの活発な職場だと思います。

◎担当業務について

発生材という自衛隊施設に関する工事で出てくる金属・木材の売払いに係る業務を行っています。写真はまさにカッコつけて現場確認をしているところです。また在日米軍が道内で訓練を行う際には、調達業務があり現地で米軍と接する機会があります。

◎休日の過ごし方

寝る間を惜しんでゲームをしています。インドア派です。

◎北海道防衛局の押しポイント！

休暇が取りやすく、ワークライフバランスが充実しています。

◎志望動機

航空自衛官の友人がいて、話を聞くうちに国防という大きな使命のある仕事に興味を持ちました。地方公務員からの転職でしたが、採用時期を調整してもらえたことも決め手の一つでした。

◎職場の雰囲気

業務で問題が起きたとき、直属の上司だけでなく補佐や課長も一緒に対応を考えて、「がんばれ」と背中を押してくれたことがあり、普段から安心して働くことができています。

◎担当業務について

自衛隊敷地内に設置するATMや売店・電柱等の使用許可や、千歳飛行場周辺にある国有財産の管理を行っています。土地と建物単価を算定する秋ごろ、使用の申請が増える年度末は少し忙しいですが、自分でペース配分をしやすい業務です。

◎休日の過ごし方

夏はテニスや自転車、冬はスノボをして自然を満喫しています。アウトドア派です。

◎北海道防衛局 押しポイント！

米軍等と関わる業務があるため、誰でも語学を学べる環境が整っているところです。北海道は管轄地域が広く 出張で北から南まで行く機会もあります。



白井さん

【所属】

施設管理課 提供管理係

【採用区分】

国家一般職（大卒程度）
2023年 入省



自衛官候補生 (任期制自衛官) 採用試験 申込受付中!

自衛官候補生(任期制自衛官)とは??

自衛官候補生・・・約3ヶ月間の教育に専念した後、任期制自衛官に任官する制度です。
任期制自衛官・・・自衛官候補生として教育を受けた後、約2～3年を1任期として勤務する自衛官のこと。任期満了後は、自分の希望やライフプランに合わせて将来進む道を選択することができます。



自衛官候補生について

自衛官候補生(任期制自衛官)のしくみ

自衛官候補生 教育

約3ヶ月間、自衛官となるために必要な基礎的教育を受けます。



職種・職域 決定

「職種・職域」(自衛隊の中での役割分担のこと)の選択を行います。



2等陸・海・空士任官

任期制自衛官に任官されます。階級が付き、自衛官としての道がスタートします。



教 育

部隊勤務のための専門技術・知識について、基本的な教育を受けます。



部 隊 勤 務

陸上自衛隊は1年9ヶ月、海上・航空自衛隊は2年9ヶ月勤務します。



任期満了・進路選択

継続勤務、民間企業等へ就職、大学等へ進学といった進路選択を行います。

任期満了後の進路選択の特長

- 1 継続勤務・・・選抜試験に合格すれば「曹」や「幹部」を目指すことができます。(2任期目以降は2年毎の任期更新)
- 2 就 職・・・就職活動のサポート体制が充実しています。民間企業等への就職率はほぼ100%!!
- 3 進 学・・・任期満了まで勤務し国内の大学に進学した場合、一定額の給付金が支給されます。(一定の条件あり)

自衛官候補生採用試験は、年間を通じて申し込みを受け付けています。
詳しく話を聞きたい方は、最寄りの地方協力本部までお問い合わせください。



札幌 地方協力本部
011(631)5472



旭川 地方協力本部
0166(51)6060



函館 地方協力本部
0138(53)6241



帯広 地方協力本部
0155(23)5882